

日独共同大学院プログラム 2013 春季・共同セミナー

日程：2013年3月6日（水）～10日（日）

会場：東京大学・駒場キャンパス 18号館4階コラボレーションルーム1, 3、
理想の教育棟 (21 KOMCEE) 303号室

テーマ：市民社会における少数派（マイノリティ）

3月6日（水） コラボレーションルーム1

- 13:00-14:00 導入・自己紹介
- 14:00-16:00 報告：原田晶子（東京大学）
「中世末期ドイツ都市における社会的アイデンティティ」 [独]
コメント：猪刈由紀（上智大学） [独]
- 16:30-18:00 学生報告 [日]:
ハイコ・ラング「戦後の外交思想における日本と東南アジアの位置づけ」
カトリン・プロイスラー「村上隆——工房中での巨匠の役割」
フランツィスカ・エーデル「関東大震災後の復興まちづくり
——東日本大震災と比較して」

3月7日（木） コラボレーションルーム3

- 10:30-12:30 学生報告 [日]:
マーティン・ヴァント「戦後沖縄における戦争記念碑群の建立過程——戦争と
戦死の解釈をめぐる紛争について」
カロリーネ・ハウフェ「ドイツと日本における市民討議会——討議デモクラシー
の1つの市民参加の手法」
- 14:00-17:30 モジュールI：「ガンと闘う人のための支援」 [英、独、日]
講演：ビンジー・ゴンザルボ（NPO Livestrong 代表）
コーディネート：平松英人（東京大学）

3月8日（金） コラボレーションルーム3

- 10:00-13:00 ドイツ日本研究所見学（希望者）
- 15:30-17:00 講義：ハラルド・ブルーム（ハレ大学）
「少数派（マイノリティ）理解の変化——思想史の観点から」 [独]

3月9日(土)

21 KOMCEE, 303号室

10:00-13:00 モジュールII:「障害者と市民社会」 稲原美苗(東京大学) [英]
13:00- 反原発デモ見学(希望者)

3月10日(日)

21 KOMCEE, 303号室

10:00-12:30 学生報告 [独]:
橋本泰奈「西ドイツの外国人政策——ナチ時代との連続性と非連続性」
伊東直美「第一次世界大戦中のドイツ系ロシア人戦争捕虜」
白鳥まや「理解に際して他者と同じ地平に立つことの意味——ガダマー・ハーバ
マス論争を手掛かりに」
長谷川晴生「博士論文構想」
13:30-16:30 モジュールIII:「日本の民間伝承における異人論」 梶谷真司 [独]
16:45-17:15 総括
18:30- 懇親会

※ 講演者、報告者名の後ろに [] に入っているのは使用言語です。

[独]ドイツ語 / [英] 英語 / [日] 日本語